令和８年度
「日本ワインミュージアム（仮称）」
設置に係る基本構想の策定に向けた提言
【参考事例】ボルドーワイン博物館　Cité du Vin

令和８年１０月

「日本ワインミュージアム（仮称）」有識者会議

ボルドーワイン博物館　Cité du Vin

① 設立コンセプト

ボルドーに位置する世界でも類を見ない文化施設、シテ・デュ・ヴァンは、ワイン文化と文明のための財団によって運営されています。この財団は、公益事業として認められた民間の財団であり、ワインの遺産を支援、促進、継承することを使命としています。

価値観、知識、文明を担うワインは、美食の枠をはるかに超えた存在です。その非常に特別な影響力を認識し、フランスは 2014 年 10 月 13 日付の農業、食料、林業の未来に関する法律第 2014-1170 号を公布し、ワインを文化、美食、景観の遺産に正式に組み込みました。

このかけがえのない遺産を守り、保護し、促進し、次世代に伝えるというワインの文化的側面を促進・伝承するという使命に基づき、当財団は様々な活動を通して、ワインの遺産を守り、過去および現在の社会におけるワインの影響を示すことに貢献しています。その使命は、この生きた普遍的な遺産を、できる限り多くの人々に身近なものにすることです。

これらの重要な使命に基づき、ワイン文化文明財団は 2014 年 12 月 11 日に公共事業体として認定されました。

② プロジェクトの起源

ワインをテーマにした文化観光センターの構想は、2009 年に具体的なプロジェクトとして具体化しました。この構想を提案したのは、2008 年の市議会選挙運動中にボルドー市長を務めていたアラン・ジュペ氏でした。

2009 年に、将来のプロジェクトオーナーであり、シテ・デュ・ヴァン（ワイン博物館）の建物の所有者でもあるボルドー市と連携して実現可能性調査を調整するため、準備協会が設立されました。当初はアラン・ジュペ氏が、その後シルヴィー・カズ氏が会長を務め、現在はフィリップ・マソル氏が会長を務めています。

協会の設立メンバーは、ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏、ボルドー都市圏、ボルドー市、ボルドーワイン業界協議会（CIVB）、ボルドー商工会議所です。

2011 年には、シテ・デュ・ヴァンの建設資金を支援する後援者からの寄付を募るための基金が設立されました。2015 年 1 月、協会は運営をワイン文化文明財団に引き継ぎ、同財団は 2016 年 6 月の開館以来、シテ・デュ・ヴァンの運営、開発、プロモーションを行っています。

③ ワインシティ財団の資金調達

シテ・デュ・ヴァン（ワイン博物館）の建設は、官民連携による独創的な取り組みの成果であり、公的資金と民間資金を後援という形で組み合わせた資金調達モデルです。これはフランスでは比較的珍しい事例と言えます。

総額 8,100 万ユーロのうち、付加価値税を除く残りの 81%を調達するために、ボルドー市はプロジェクトに関わるすべての地方自治体と機関を結集させることに成功しました。

＜ボルドー市 38% ヨーロッパ 15% ボルドー・メトロポール 10% アキテーヌ地方 7% CIVB 7% 州 2% CCIB 1% ジロンド県 1%＞

④ 科学文化委員会

シテ・デュ・ヴァンは、数多くのパートナーの専門知識を活用し、国内外の文化・科学交流ネットワークの一員です。当施設は、可能な限り幅広い層の来場者にとっての体験、共有、そしてアクセスのしやすさを最優先に考えていますが、常設展示で紹介・提供されるコンテンツは、確固たる科学的根拠に基づいています。

常設展示の理念と構成は、科学・文化分野から集まった約 30 名からなる委員会との協力のもとで策定されました。この委員会には、研究者や学者に加え、出版・報道業界の代表者も含まれています。また、様々な分野の専門家や、フランス国内外の多くの専門家も、この学術コレクションの発展に貢献しました。

⑤ 担当者からのコメント

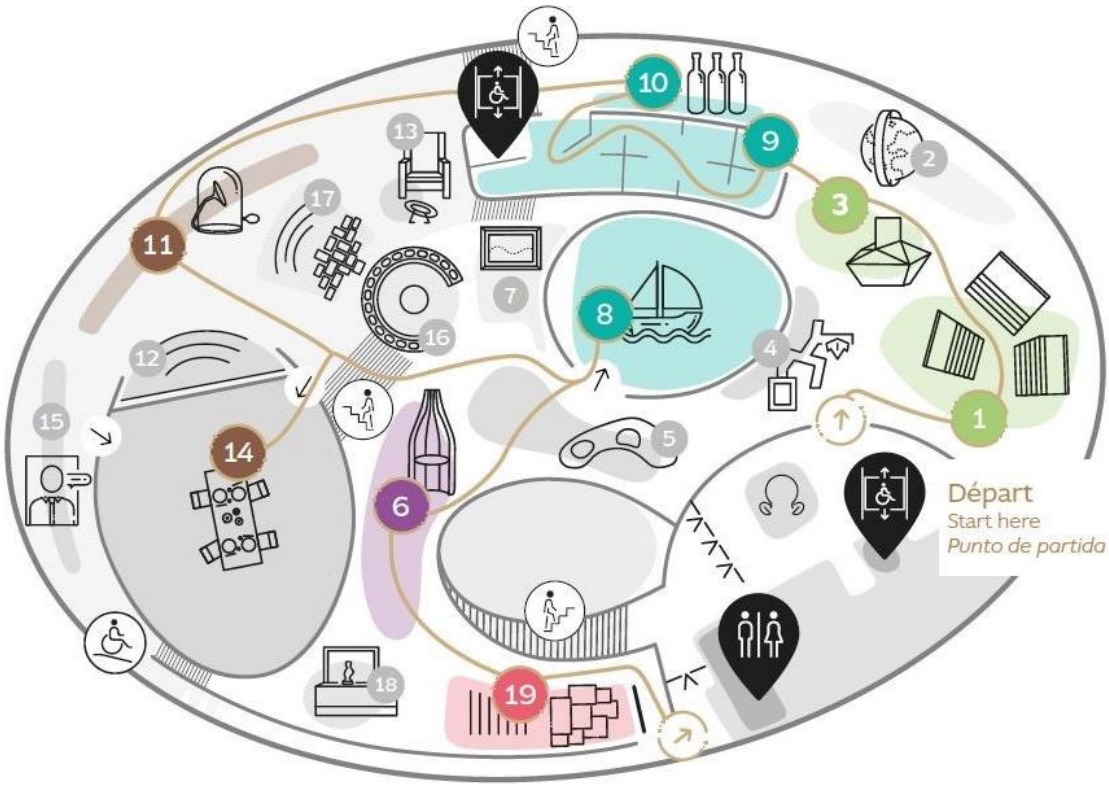
(フローランス・マフラン氏 シテ・デュ・ヴァン/ワイン文化文明財団)
〇山梨でのミュージアムプロジェクトは非常に興味深いものであり、私たちも是非協力したい

・「シテ・デュ・ヴァン」は 2016 年 6 月の開館以来、360 万人以上の来場者（年間約 40 万人）
・2025 年 来場者 55%が外国人（スペイン、米国、英国、ドイツ、イタリアの順）
・文化プログラムの中核をなすのは常設展示（来場者の 95%が常設展示を巡っている）
・24,000 人が五感で味わうテイスティングコース「ヴィア・センソリア」を訪れる
・来館者の満足度は非常に高く、ネットプロポータースコア（顧客推奨度）は 69 を超えている

〇当社の活動の一環として、ワイン博物館のプロジェクトに対し、文化エンジニアリングの専門知識を活かした支援を提供可能。規模の大・小、全国的・地域的、公的・民間を問わず、様々なプロジェクトを支援。このたび、ドイツのブラッケンハイムにある民間博物館のプロジェクト支援を完了（今夏オープン予定）。

Cite du Vin の展示体験一覧

◇ Permanent exhibition



総床面積　約 13,350～14,000 ㎡
常設展示エリア・体験スペースの展示館面積　約 3,000 ㎡

参考：山梨県内情報発信施設の展示面積	
リニア見学センター西館	2,098 ㎡（機械室、トイレ込）
フルーツパークフルーツ展示室	1,600 ㎡（機械室、トイレ込）
富士山世界遺産センター南館	1,498 ㎡（機械室、トイレ込）
美術館　特別展示室	1,148 ㎡
山梨県立博物館　企画展示室	757 ㎡
山梨ジュエリーミュージアム	500 ㎡

①　空から見たブドウ畑　Vineyards from the skies

ブドウは世界中の様々な自然環境下で栽培されています。ワイン生産者は、それぞれの地域の特性に合わせてノウハウを駆使し、土地の特性を最大限に引き出すために景観を工夫します。まさに大地の職人と言えるでしょう。これらのワイン産地は、多様で時に驚くべき表情を見せ、しばしば壮観な景観を誇り、象徴的な存在となることさえあります。上空から眺めるのが、ワイン造りの景観の多様性を堪能する最良の方法です！常設展示のこの没入型セクションの中心では、3 つの巨大スクリーンに映し出される映像に身を委ね、3 つの異なる視点からワインの世界に浸ってく

ださい。このユニークな展示では、17 か国、約 20 のワイン産地を巡る旅へと誘われます。なだらかな丘陵地に、ブドウの木が整然と長く並んでいるだけの、ブドウ畑はどれも同じだと思いがちですが、それは全くの誤りです。チリのエルキ渓谷からシャンパーニュ地方の緑豊かな丘陵地帯、ドウロ川のほとりからランサローテ島の月面のような風景、タヒチから富士山の斜面まで、世界各地のワイン産地の驚くべき多様性にきっと驚かれることでしょう。ワイン生産者は、最も恵まれた地域から最も厳しい地域まで、実に多様な地域でブドウを栽培しています。

② ワインの世界 The world of wine

ブドウの木は、地球の北半球と南半球の 2 つの気候帯で主に生育することをご存知でしたか？何世紀にもわたり、人類は行く先々で、可能な限りブドウの木を植えようと努力してきた…。ブドウはどこでも育つわけではありません。日当たり、光、そして暖かさを好みます。極端に寒い気温には弱く、必要な水の量も最小限です。ブドウ栽培が可能な地域、困難な地域、そして不可能な地域を決定づけるのは、何よりも気候なのです。それぞれのワイン産地で、ワインメーカーは気候とブドウ品種を巧みに操り、多様なワインを生み出しています。まるで大地の職人のように、彼らは専門知識を駆使してブドウ品種をその土地の環境に適応させていきます。その結果、驚くほど多彩なワインが生まれ、それぞれのワインがその産地の物語を語るのです。シテ・デュ・ヴァン常設展示のこのセクションでは、巨大な世界地図上で世界のワイン生産国をご覧いただけます。ワイン業界の主要企業や、その活動に関わる重要人物を一目で把握できます。

③ 世界のテロワール Terroirs of the world

シテ・デュ・ヴァンでは、ワイン生産者自身が語る、ワイン産地のテロワールの真髄に触れる旅にご招待します。自然と人々によって形作られた、それぞれのワインが語る唯一無二の物語を、ぜひご一緒にお楽しみください。テロワールとは、単なる土地の広がり以上のものです。それは、気候、地形、方位、土壌、動植物、そして環境といった様々な自然要素の相互作用によって生み出されるものです。しかし、それぞれのテロワールを真に唯一無二のものにするのは、何世代にもわたるワイン醸造家によって磨き上げられた、欠かせない人間の専門知識と技術なのです。この魅力的な地域で、世界各地から集まった 10 人のワインメーカーに出会おう。彼らはそれぞれ、自らのテロワールの特徴を語り、その特性がワイン造りにどのような影響を与えるかを明らかにします。ドイツのモーゼル渓谷、ギリシャのサントリーニ島、アルゼンチンのメンドーサの乾燥した平原、アンデス山脈の麓、ボルドー南部のソーテルヌなど、それぞれの物語は情熱と献身に満ちた世界への誘いとなるでしょう。

④ ブドウの木 The vine

ブドウの木は、自然環境との相互作用を通して生きています。それぞれのブドウの木は、土壌、空気、そしてそこに生息する生物と相互作用しています。根は土壌から水分と栄養分を吸収し、葉は空気中の二酸化炭素を取り込み、光合成という魔法

の働きによって、ブドウの木を養う糖へと変換します。同時に、葉は酸素を放出します。この酸素のおかげで、私たちは呼吸することができるのです。さらに、ブドウの木は土壌中の菌類にも糖を供給し、菌類はブドウの木に水分を与えます。ブドウの木は、まさに環境と調和して生きているのです。 しかし、ブドウの木は自然環境の中で自然に育つわけではありません。ブドウは栽培植物です。植え付け、育てるのはワインメーカーです。まるで熟練した庭師のように、彼らはブドウの木とブドウの成長の各段階において重要な役割を果たします。収穫まで、形を整え、保護し、手入れをします。それは愛情と精密さを要する作業であり、一つ一つの動作が、高品質なワインだけでなく、ブドウの木の寿命をも保証する上で重要な意味を持ちます。ワインメーカーの決断は、周囲の環境、つまり私たちがブドウ畑の生態系と呼ぶものすべてにも影響を与えます。

⑤ ワイン醸造　Winemaking

ブドウの品種の種類の豊富さにきっと驚かれるでしょう！それぞれのワインは個性豊かで、その多様性は多種多様なブドウ品種とテロワール（土壌や気候などの土壌特性）に由来します。すべてはブドウから始まり、ブドウにはワイン造りに必要なすべての要素が含まれています。このエリアでは、ブドウ品種の壁をじっくりと眺め、主要なブドウ品種について学び、ブドウの主要成分を理解しましょう。きっとすぐに、ワインの原料の複雑さと豊かさを実感できるはずです！ワイン造りの芸術についても学ぶことができます。ワイン造りは、自然のプロセスを導くことに他なりません。世界のワインはすべて、自然界に自然に存在する酵母によるブドウ糖のアルコール発酵、すなわち自発的な自然現象の産物です。しかし、消費者の好みに合った、高品質でバランスの取れた豊かなワインを造るには、高度な技術が求められます。ワイン造りは、醸造家が監視し、導く、複数の変容と交換の段階を含む長いプロセスなのです。

⑥　ブドウ栽培者の一年　The vine-grower's year

ワインは、ブドウの木から始まり、グラスの中で終わる、人間と自然との絶え間ない対話の結果である。ゆったりとくつろぎ、ワインメーカーたちの日常に浸ってみてください。この常設展示エリアでは、ブドウ畑とワイナリーの両方で、ワインメーカーたちの年間を通しての生活と仕事ぶりをご覧いただけます。ブドウ畑では、人間は自然の力に適応しなければなりませんが、同時にその力と協力し、コントロールしていく必要があります。雨、霜…ブドウ栽培者が直面する様々な課題を目の当たりにしてください。季節の移り変わりとともに、ブドウの成長のあらゆる段階で、代々受け継がれてきた古来の栽培技術を発見できるでしょう。春には、芽吹きとともにブドウの木が再生する様子をご覧ください。夏には、太陽の暖かさを感じてください。秋には、収穫の喜びを分かち合い、ブドウを守り、最高品質のワインを保証するために、一房ずつ丁寧に摘み取られる様子をご覧ください。冬には、ワインメーカーが剪定や手入れを行い、翌年に向けて苗木を準備する様子をご覧ください。彼らの熟練した技術に感嘆してください。

⑦　6つのワインファミリー　Six Wine Families

白ワイン、赤ワイン、ロゼワイン、スパークリングワイン、甘口ワイン、酒精強化ワイン…ワインは、色やスタイルの異なる 6 つの主要なグループに分類されます。これらのワインファミリーの中にも、さらに多様性があります！無限の色彩、無数の香り、口当たりの印象…フレッシュで生き生きとしたワインから、力強く芳醇なワイン、温かみのあるコクのあるワイン、そして力強いワインまで…。常設展示のこのエリアでは 、独特な形状をした巨大なボトルに収められた、それぞれのワインファミリーの秘密を探ることができます。各ファミリーは異なる醸造方法で生産されたワインで構成されており、それぞれに特有の風味特性があること、そしてそれぞれのワインは正しく提供することでその真価を最大限に味わうことができることを発見できるでしょう。

⑧ 文明のギャラリー The Gallery of Civilisations

ワインは紀元前 6000 年以前から人間の生活の一部であり、社交や日常の飲酒、特別な行事や政治的なイベント、薬用ワイン、聖なるワインなど、幅広い用途で用いられてきました。ワインは常に私たちの社会において特別な役割を果たし、食卓や儀式に欠かせない存在でした。常設展示のこのエリアでは、10 のテーマ別展示室からなる広々としたギャラリーを通して、ワインの普遍的な歴史を巡る旅へと皆様をご招待いたします。この没入型の旅は、古代文明から 20 世紀まで、時代を超えたワインの歴史を辿り 、その進化と用途について独自の視点から深く理解する機会を提供します。

・近東地域とコーカサス山脈の麓におけるワイン造りの最初の痕跡を探ってみよう…
・エジプトの墓を探検し、ワインの製造過程を描いた壮大な壁画や、驚くべき医学パピルスを発見しよう。
・古代ギリシャの儀式的な宴に浸ってみましょう。そこでは、ディオニュソス神を称えるためにワインが振る舞われ、哲学的な議論、音楽、そして踊りが繰り広げられました…。
・ワインが社交の中心であったローマの酒場の活気あふれる雰囲気に浸り、ローマの農業論文の驚くべき近代性を発見してください。
・17 世紀にロンドンで初めてボルドーワイン専門のワインバーが誕生した経緯、そしてコーヒーとチョコレートが、今日私たちが知る偉大な赤ワインの隆盛にどのように貢献したのかを探ってみましょう。
・科学が隆盛を極め、 19 世紀の偉大な建築家たちがボルドーの壮麗な城を設計した、最初の世界博覧会の黄金時代へと時を遡ってみましょう…。
・この輝かしい時代の終わりに、ヨーロッパのブドウ畑がほぼ消滅してしまったことをご存知ですか？フィロキセラとの闘い、そしてブドウ畑の再建という驚くべき物語をご覧ください。

各部屋は、壮麗な装飾、各時代を象徴する品々、模型、アニメーション映画、ミニチュア 3D シーンなどを組み合わせた、他に類を見ない体験を提供するように設計されており、それらすべてが魅力的な物語を紡ぎ出しています。

⑨ ワイントレンドアレイ Wine trend alley Discover the latest trends in modern wine culture

21 世紀に入り、世界は変化を遂げており、ワインも例外ではありません。私たちと同じように、ワインも最新のトレンドを取り入れ、有機農業への転換やソーシャルメディアでの存在感など、様々な形で社会の進化に貢献しています。現代の建築家たちは、ワインツーリズムにますます積極的に取り組むワイナリーなど、あらゆる角度からワイン業界を再設計している。しゃべる小さなボトルコレクションと、用意された座席から鑑賞できる 2 本の映像を通して、今日のワインの世界を形作る革新的な手法や新たな物語を発見することができます。シテ・デュ・ヴァンでは、現代ワイン文化の最新トレンドに特化したこの空間で、革新と創造性が支配する変革の世界を探求していただけます。

⑩ 五感のビュッフェ The Buffet of the Five Senses Smell, touch, look and let your senses surprise you

ワインを飲むことは、五感を駆使する芸術です。その色を堪能し、香りを楽しみ、口の中で感じる感覚を味わい、コルクの「ポン」という音に耳を傾けましょう…。それは、視覚、嗅覚、触覚、味覚、そして聴覚さえも刺激する体験であり、記憶、感情、そして想像力を呼び覚ます体験です。ワインの多様性と豊かさを堪能するのに、熟練したワイン専門家である必要はありません。必要なのは、鼻と口だけです！常設展示のこのセクションは、初心者から専門家まで、あらゆる人が楽しめるように設計されており、家族連れにも大変人気があります！このコーナーは 2 つのテーブルで構成されています。1 つは赤ワイン専用、もう 1 つは白ワイン専用です。それぞれのテーブルで、ワインの香り、色、質感を楽しみながら探ってみましょう。ワインの多彩な色で遊んでみてください。謎めいたベル型のカバーに鼻を近づけて、時には驚くような香りを嗅ぎ分けてみましょう。ワインの様々な質感を発見してください。思いがけないキャラクターと対話することで、五感の秘密をすべて解き明かすことができます。口からも香りを感知できることをご存知でしたか？ワインは食事の楽しみの一つであり、特に自分の好みに合わせて料理とワインを組み合わせると、その喜びはさらに増します。このゲームでは、料理とワインの組み合わせ方を学ぶことができ、自分だけのメニューを楽しく組み立てることができます。

⑪ 夕食の準備ができました！ Dinner is Served! Celebrating wine as a way of life

私たちが一緒に食事をするのが好きなのは、ワインが五感だけでなく心をも満たしてくれるからに他なりません。美味しい料理と共に味わうワインは、他に類を見ない感覚的な体験、色彩、香り、そして味わいの世界を巡る真の旅へと私たちを誘い、想像力を掻き立てます。五感と記憶の魔法を通して、ワインは私たちを別の場所、別の体験へと連れて行ってくれるのです。常設展示のこのセクションでは、海辺のシンプルなピクニックテーブルと豪華な宴会テーブルが同時に存在する、テー

ブルを中心とした没入型のショーを体験できます。動くテーブル上や周囲の壁に映し出される映像に囲まれ、夢のような魔法の世界へと誘われます。感覚の渦に身を任せてみよう！それぞれのワインが、想像力をはるかに広げる扉を開く、全く新しい感覚の世界をどのように秘めているのかを発見してください。泡が優雅に舞い、ライムやアカシアなどの繊細な香りが漂うスパークリングワイン。これらは軽やかさ、喜び、そして祝祭を象徴するワインです。ミネラル感のあるドライな白ワイン。その酸味とヨードの香りは、波の躍動感と新鮮な潮風を彷彿とさせ、私たちを海へと誘う。情熱の色である赤ワインは、濃厚で滑らかで、赤や黒の果実の香りと、森の地面のような深い腐植土のニュアンスが溢れています。これらは愛のワインであり、結婚披露宴にふさわしいものです。ロゼワインは、淡い色合いとラズベリー、メロン、桃などの繊細な香りを持ち、しなやかでフレッシュな味わい。シンプルさと気楽な精神が感じられるワインです。黄金色に輝く甘口ワインは、スパイス、砂糖漬けのアプリコット、デーツの豊かな香りを放ち、まるで贅沢な布地のように口の中でとろけるような、極上の味わいと長く続く余韻を誇ります。これらのワインは、クリスマスの祝祭を告げる宝石であり、宝物なのです。すべてのワインは、あなたを特別な旅へと誘います…

⑫ ワインと私 Wine and me

もしあなたがワインだとしたら、どのワインになりたいですか？あなたはジャズ派？それともロック派？森の中を散歩するのとチェスをするのと、どちらが好きですか？あらゆる分野におけるあなたの個人的な好みは、あなた自身を形作ります。常設展示のこのセクションでは、インタラクティブなテーブルに着席し、オリジナルのテストに導かれながら、あなたの個性を最もよく表すワインを見つけてください！味覚や感覚を探求し、想像力を働かせながら、未来のお気に入りのワインを見つけることができるでしょう。ワインの選び方と、責任ある楽しみ方とは？ 皆様のお役に立てるよう、ワインウェイター、セラーマスター、その他ワイン造りの世界の専門家からアドバイスを集めました。彼らは、あらゆる場面に最適なワインを選ぶためのヒントを共有します。ヴィンテージは重要ですか？受賞歴は信頼できますか？ワインラベルはどのように読めばよいのでしょうか？医師はまた、ワインを理解し、責任を持って楽しむためのガイドラインや推奨事項も提供しています。リラックスして、ワインについてずっと抱いていた疑問への答えに耳を傾けてください。ワイン初心者の方でも、ワインのエキスパートの方でも、ワインに関する知識と経験を深めるための貴重な情報が見つかるでしょう。

⑬ 川沿いに Along the rivers Navigate the waters that have shaped the history of wine

19 世紀に鉄道が発達する以前は、ワインはさまざまな方法で市場やワイン愛好家の食卓に届けられていました。河川は自然の交通路であり、最も速く安全な輸送手段でした。こうした水路のおかげで、主要なワイン産地は繁栄し、ヨーロッパ中に知られるようになり、世界中の市場への扉を開く港へのアクセスを獲得することができました。常設展示のこのセクションでは、5 つのアニメーション画像を通して、時空を超えた旅に出かけましょう。これらの画像には、何世紀にもわたってワインの

輸送に利用されてきた主要な河川と、その周辺に誕生した主要なワイン産地に関連する過去の地図や画像が映し出されています。それぞれの画像は、特定の河川における重要な時代を描いています。川とその周辺のワイン産地を探検しよう：古代ローヌ川の流れを辿ってみましょう。ローヌ川はローマ時代のガリアにおける主要な交易路であり、特にローマ帝国各地から運ばれてきたワインにとって重要なルートでした。時代を中世に進め、ガロンヌ川とドルドーニュ川の流れを追ってみましょう。これらの川は、当時イングランド王室領だったフランス南西部のブドウ畑にとって、まさに生命線でした。ボルドー港を経由して、これらのワインは北ヨーロッパ各地へと運ばれていったのです。芸術家や詩人によってしばしば称賛されてきた、最もロマンチックな川であるライン川沿いに、スイスからドイツにかけて広がるブドウ畑や、中世後期のケルン港における活発な船舶交通の様子を発見してください。かつてパリ全域に水を供給していたセーヌ川を遡り、地元の船乗りやワイン商人たちに出会いましょう。支流を含むロワール川沿いを旅し、約 1,000 キロメートルに及ぶワイン産地を巡りながら、人々が何世紀にもわたってどのようにこの川を利用し、他の主要河川と繋ぐ広大な運河網を築き上げてきたのかを発見しましょう。スペインの源流からポルト港の河口まで、ドウロ川沿いの険しい斜面の景観に魅了されながら、川岸で生まれたワインがどのようにしてポルトの主要なワインセラーに運ばれ、そこで熟成され、今日私たちが知るワインへと変化していったのかを発見してください。

⑭ ワインが世界を席巻する Wine conquering the world

古代から現代に至るまで、商人、探検家、入植者、宣教師たちは、船でブドウの木とワインを運んできました。アンフォラ、樽、そして容器に、これらの冒険家たちは貴重な積荷を運び、既知の世界の果てまで届けました。そのおかげで、地中海の陽光あふれる海岸から、ワインは世界を席巻したのです。海や大洋を越えたこれらの探検は、ワインとブドウ栽培への嗜好を広めただけでなく、ワイン醸造方法にも変革をもたらした。常設展示のこのセクションでは、50 席のボートに乗り込み、時空を超えた魅惑的な旅へと誘うアニメーション映画をお楽しみいただけます。主要な海洋探検の航路を辿りながら、世界各地にワインとブドウを広めるために自然の猛威に立ち向かった、時代を超えた開拓者たちの壮大な物語を追体験してください。この没入型体験の各段階を通して、こうした文化的・商業的な交流がいかにして常に地球上の人々を結びつけてきたかが明らかになる。 また、ワインが長い海上輸送中に品質を損なわないようにするために、保存技術がどのように変化していったのか、そしてそれが新しいタイプのワインの誕生につながった経緯についても知ることができます。フェニキアの商人たちと共に海を航海し、ローマ軍に同行し、スペインの宣教師たちに加わり、新世界にたどり着いた入植者たちの希望を感じてください。 それぞれの物語は、発見の旅へと誘うものであり、ワインが海を越え、時代を超えて旅することを可能にした男女の情熱と大胆さを証言している。

⑮ ボルドーのブドウ畑 The Bordeaux vineyards

常設展示のこのセクションは、ボルドーワイン地方に特化しており、魅力的なワイン生産地のモザイク模様を発見する旅へと皆様をお誘いします。 メドックからソー

テルヌ、アントル ドゥ メール、リブルヌ、ブール、ブライを経由してグラーヴの土壌に至るまで、各地域には独特の景観、特徴的なテロワール、そして比類のないスタイルのワインが存在します。 ボルドーワイン産地の 3D アニメーションマップで、ボルドーのブドウ畑のさまざまな地域、アペラシオン、そして特徴を発見しましょう！ボルドーワイン産地は、何よりもまず、類まれな多様性を誇る地域である。 65 種類もの異なる原産地呼称を持つこの地域は、ギリシャやドイツの原産地呼称を合わせたよりも規模が大きく、その広大さは多様なテロワールによるもので、有名な赤ワインやデザートワインだけでなく、辛口白ワイン、甘口白ワイン、ロゼワイン、クレレット、クレマンなどのスパークリングワインも生産できる。これらの地域はそれぞれ、景観、テロワール、ブドウ品種、醸造技術、歴史によって形作られた独自の個性を持ち、それが生産されるワインにも反映されています。メドックは力強い赤ワインで有名で、グラーヴはエレガントな白ワインと上品な赤ワインで知られています。ソーテルヌは、比類のない甘さのデザートワインであなたを魅了するでしょう。アントル・ドゥ・メールの生き生きとした白ワイン、そしてリブルヌ、ポムロール、サン・テミリオンの名高いワインが、この豊かなコレクションに彩りを添えています。さらに、香りの多様性に富んだワインを提供するブールとブライエも忘れてはなりません。

⑯ ボルドーの壮大な物語 The Epic Tale of Bordeaux Experience the great history of Bordeaux

ボルドー地方が主要なワイン産地となったのは、ローマ時代のブルディガラ（古代ボルドー）の時代からすでに主要な輸出拠点であった港のおかげであるということをご存知でしたか？有名なワインで国際的に名高いボルドーの豊かな歴史に浸ってみませんか。しかし、その名声の裏には、黄金時代と危機が交錯する激動の過去があり、情熱的な男女が幾世代にもわたって紡いできた物語が隠されています。 偉大な地主や謙虚なブドウ栽培者、大胆な商人、仲買人、科学者、そして世界各国のワイン愛好家たちが、ボルドーとそのワインの国際的な名声を築き上げ、ブドウ畑を発展させることに貢献してきた。常設展示のこのセクションでは、壮大な映像を通して、この長く魅力的な歴史の秘密を 8 つの異なる時代にわたって明らかにする、特別な冒険へと皆様をご招待します。 政治的同盟、戦争、起業家や外国人商人の到来、新天地の征服など、 さまざまな出来事がこの地域にどのような運命をもたらしたのかを探ってみましょう。時代を経るにつれ、ボルドーだけでなく世界各地でブドウ栽培とワイン醸造に革命をもたらした技術革新、そしてボルドーワインの品質を新たな高みへと押し上げた科学的発見の数々を目にすることになるでしょう。この映画を通して、街とその地域の歴史における重要な瞬間を、それぞれのシーンに登場する人物と共に、時代を超えて旅することができます。ボルドーを国際舞台の最前線へと押し上げた大胆さと独創性、そしてその壮大な過去を彩った象徴的な人物たちに、きっと驚嘆することでしょう。 また、ボルドー地方、そのブドウ畑、そしてワイン生産者たちが、現代の新たな課題に適応するために、どのように変革と自己改革を進めているのかについても聞くことができるでしょう。

◇ Wine tasting workshops

ボルドーのブドウ畑を 360 度見渡せるツアー

360 度スクリーンを備えた没入型ルームでゆったりとくつろぎながら、ソムリエが演出する特別なテイスティング体験をお楽しみください。
アルカション湾の牡蠣小屋の麓から、あるいはボルドーの屋上から、メドック地方の多様な風景や起伏に富んだリブルネ（サン・テミリオン）地方を巡りながら、360°映像による 4 つの五感を刺激する場面の合間に、4 種類のボルドーワインを味わうことができます。探求心を満たすひとときをお約束します。
このワークショップでは、ボルドーワイン 4 種類のテイスティングを行います。
ワークショップは英語で行われ、ボルドーワインスクールと提携し、ワイン専門家が講師を務めます。
協力：エコール・デュ・ヴァン・ド・ボルドー

試飲したワインは、当社のワイン業界パートナーであるボルドーワイン協議会とメドックワイン協議会から提供されたものです。

ワインテイスティング入門ワークショップ（多言語対応）　毎日午後 3 時

ワインのテイスティングとは？どのように楽しみ、どのように語り合うのでしょうか？ワインテイスティングの技術は、必ずしも容易ではありません。
ワイン専門家がフランス語で指導するワークショップですが、付属の機器による同時通訳（読み書きと会話）により、 あらゆる言語での参加が可能です。

このワークショップに参加すれば、ワインテイスティングのコツを楽しくフレンドリーな雰囲気の中で学ぶことができます。ワインに対する不安を解消し、五感と嗅覚の記憶を呼び覚ます絶好の機会です！

ソムリエが、テイスティング中に明らかになる色、風味の強さ、香りの特徴、バランスといった様々な手がかりを用いて、ワインの基本を丁寧に解説します。白ワインから赤ワイン、ロゼワインまで、世界中の提携ワイナリーのテロワールから生まれる主要なワインの種類とスタイルをご紹介します。

→ 世界各国のワインを 3 杯。

◇ Via Sensoria　10 周年記念イベント

感覚を刺激するテイスティングの旅

4 つの季節を通して、ボルドーワイン 4 種類またはノンアルコール飲料を味わいながら、五感を刺激する特別なテイスティング体験をお楽しみください！　2026 年 4 月 1 日から 11 月 1 日まで

ヴィア・センソリアは、五感を刺激するユニークなテイスティング体験です。四季をテーマにしたパビリオンを巡る 1 時間の旅では、芸術的な展示と季節に合わせたドリンクのペアリングが組み合わされ、味覚を刺激するようにデザインされています。

ソムリエガイドが同行する少人数グループ（最大 15 名）で、ボルドーのブドウ畑で栽培された 4 種類のワイン（またはオリジナルのノンアルコール飲料）を、芸術の世界と四季に特別にペアリングして味わいます。

シンポジウム：文化のないワインに未来はあるのか？

シテ・デュ・ヴァンは創立 10 周年を記念して、ワイン業界の変化を支える文化の役割を検証する公開シンポジウムを開催した。
文化はワインの世界において重要な役割を果たします。知識を伝え、伝統を促進し、地域との対話を促進し、新たな物語を生み出すからです。
議論は特に、大きな変化の時代におけるワイン産業の魅力向上、文化、観光、ワイン産業、地域公共政策間の連携構築、そしてワインの生態学的・社会的変革を支援するための仲介形態の刷新という 3 つの重要な課題に焦点を当てた。

司会・進行：クラウディア・フェラッツィ（ヴィアルテ・エージェンシー創設者兼会長）
漫画家 URBS の皮肉な視線の下で
協力団体：Iter Vitis、ANEV（全国ワイン・ブドウ園選出代表者協会）、AREV（欧州ワイン生産地域協議会）
後援：国際ブドウ・ワイン機構（OIV）

YouTube で「シンポジウム」のプレイリスト

リプレイ 1 - 会議の開会とパスカル・ルペルティエによる紹介
- シルヴィー・カズ氏、ワイン文化文明財団理事長。
- ベルナール・ファルジュ氏、原産地呼称・地理的表示ワインに関する全国専門家団体委員会（CNIV）会長。
- ジェローム・スリソー氏、全国ブドウ園・ワイン選出代表者協会（ANEV）副会長。
- マイリス・デスカゾー氏、ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏文化局長
- Pascaline Lepeltier、Meilleur Ouvrier de France、Meilleur Sommelière de France、哲学者。

リプレイ 2 - ワイン、危機、そして回復力
- オリヴィエ・ジャケ、ブルゴーニュ大学ユネスコワイン文化・伝統講座の現代史研究エンジニア兼プロジェクトマネージャー。

リプレイ 3 - ワイン：イメージを刷新する時期が来たのか？
―ヴェロニク・ルモワーヌ、ボルドーのワイン博物館常設展の科学キュレーターであり、ワイン文化文明財団の科学マネージャー。

リプレイ 4 – ワイン産業を支える文化：博物館の役割とは？
– ローレ・メネトリエ、エペルネーのシャンパーニュワイン・地域考古学博物館館長。

リプレイ 5 – フランスとヨーロッパにおける文化ルートとワイン文化の関係者
– Emanuela Panke、Iter Vitis 会長、Les chemins de la vigne、欧州評議会の文化ルート
– Edouard Mognetti、クリマとワイン・ド・ブルゴーニュの博物館ディレクター
– Vanessa Ferey、博物館学者、コニャックのサヴォワールフェール協会ディレクター
– Carmen Bengoechea、ヴィヴァンコ ワイン文化博物館顧客担当ディレクター
– Philippe マソル氏、ボルドーのワイン博物館ディレクター

リプレイ 6 – 文化、教育、観光政策は、この産業をどのように支援しているのか？
– ブリジット・ブロッホ、ボルドー市観光・ワイン経済担当市議会議員
– ラファエル・デュパン、キャップ・サイエンス社ディレクター
– ジョエル・ブエイユ、プレモンおよびフランス協同組合ブドウ栽培者協会会長
– ナタリー・カルテンバッハ、イテル・ヴィティス・フランス会長、市長、アルザス州議会議員、アルザス観光局会長

リプレイ 7 – 文化、教育、観光政策は、この産業をどのように支援しているのか？
– ガスパール・ジャボレー、フランス世論研究所（IFOP）定性調査・世論・ビジネス戦略部門ディレクター。
– クリステル・ルプレル、Vin et Société 総代表。

リプレイ 8 – 閉会の挨拶
– マリオン・デモシエ、サウサンプトン大学社会文化人類学教授、国際ブドウ・ワイン機構（OIV）認定会員

空と大地の間のブドウ畑

「空と大地の間のブドウ畑」は、ローラン・ブシュメイヤー監督、グランド・アングル・プロダクションズ制作による、ワイン文化文明財団のための 26 分間の独占映像作品（2020 年 11 月 9 日）です。

空から見た驚くべきブドウ畑の風景を描いたこの壮大な映像は、常設展示「ワールドワインツアー」を基に制作されたもので、3 つの巨大スクリーンに映し出される映像を通して、世界のブドウ畑を巡る空の旅へと来場者を誘います。

キャソン・マンのゲイリー・シェリーとの対談／シャンパーニュの新しい美術館：ワイン談義

「ザ・ワイン・カンバセーション」へようこそ。このポッドキャストは、ワインを愛する人々のために作られ、世界的に有名なメディア「デカンター」の発行人兼マネージングディレクターを 25 年以上務めるサラ・ケンプがホストを務めます。このポッ

ドキャストでは、サラや彼女の共演者たちが、ラベルの背後にある偉大な人物の物語を語り、世界的な専門家と産地やヴィンテージについて議論し、世界各地を巡って最高のワインスポットをご紹介します。

ワイン博物館を魅力的なものにするにはどうすればいいのでしょうか？ジェーン・アンソンは、ボルドーのシテ・デュ・ヴァンと、まもなくアイ村の旧ポメリー醸造所跡にオープンする新しい「シャンパンの感覚的解釈センター」プレッソリアのデザインを手がけたキャソン・マンのゲイリー・シェリー氏に話を聞きました。ゲイリー氏は、ワインに命を吹き込むことの難しさ、そして多くの失敗に終わったワイン博物館の落とし穴をどのように回避したかについて語ります。彼はプレッソリアの新しいアトラクションのいくつかを紹介します。例えば、まるであなたが善の塊であるかのように、デジタル化された根があなたについてくる「ルートルーム」などです。

ボルドーで家族連れにおすすめのアクティビティ：全年齢対象の 10 のアイデア

ボルドーで家族で楽しめるアクティビティは？日帰り旅行のアイデアをご紹介します。中でもおすすめは、ワインの世界を体験できるツアーや、家族連れにぴったりのアクティビティ、子供やティーンエイジャー向けのプログラムが満載の「ワイン博物館（Cité du Vin)」です！　2026 年 7 月 17 日

シテ・デュ・ヴァンは、家族連れで訪れるのにも最適な場所です！
シテ・デュ・ヴァンは大人専用だと誰が言ったのですか？

シテ・デュ・ヴァンは、単なる博物館見学にとどまらず、小さなお子様からティーンエイジャーまで、お子様と一緒に楽しめる、没入感のある独創的な体験を提供します。

デジタル要素を取り入れた常設展は、お子様を魅了し、様々な楽しくインタラクティブなエリアへと引き込みます。展示を進むにつれて、例えば、ブドウ畑が周囲の環境の中でどのように機能しているかを学んだり、ワイン生産者の仕事について知ったり、ワインの香りを識別することを学びながら「香りビンゴ」ゲームをしたり、バーチャルボートトリップに出かけたり、あるいは誰が一番多くのブドウを踏めるかを競い合ったりすることができます。

家族全員で楽しめる、リラックスと楽しさが保証されたひととき。

最高の家族体験
常設展示は、あらゆる年齢層に適しています。
常設展示の多くのエリアはあらゆる年齢の子供に適しており、誰もが自分のペースで探索することができます。

7 歳から 12 歳のお子様向けには、観光ガイドに掲載されている「ジュニアトレイル」が、お子様にとって最も適した楽しいエリアをすぐに見つけるのに役立ちます。

10 代のお子様については、特におすすめはありません。常設展は、お子様が好きなように楽しんでいただけます。
6 歳までのお子様は、触ったり、見たり、純粋に体験を楽しむことができます！
屋上展望台「ベルヴェデール」からの眺めは、お子様をきっと感動させるでしょう。家族全員が楽しめる場所を一つ挙げるとすれば、それはベルヴェデールでしょう！最上階に位置するこのレストランからは、ボルドーの街並みを一望でき、一歩足を踏み入れた瞬間からその絶景に圧倒されます。両親は世界各国のワインを、子供たちはブドウジュースを楽しみながら、街の象徴的なランドマークを探し出すのも楽しいひとときとなるでしょう。

家族で五感を刺激する体験をお楽しみください
五感を刺激する特別な体験を家族みんなで楽しむなら、Via Sensoria をぜひ体験してください！四季折々の味覚を巡るこの旅では、テイスティングゲーム（4 種類のワインまたは 4 種類のオリジナルノンアルコール飲料）を通して、味覚を構成する様々な風味をより深く理解できる、没入感のあるウォーキング体験をお楽しみいただけます。お子様の味覚を刺激するのに最適な方法です！

夏の一大イベント：毎週木曜日の夜に開催される世界のブドウ畑ツアー

この夏は、ボルドーにいながらにして、世界の偉大なワイン産地を巡る旅に出かけましょう！毎週木曜日の午後 7 時からは、ワインテイスティングワークショップを開催。象徴的なワイン産地を巡る発見の旅へと皆様をお連れし、和やかなひとときをお過ごしいただけます。

番組内容はこちらです。お好きなものをお選びください。

7 月 2 日：スイスワイン
7 月 9 日：コルシカワイン
7 月 16 日：ドイツ産ワイン
7 月 23 日：アルザス産のワイン
7 月 30 日：オーストラリア産ワイン
8 月 6 日: シャトーヌフ・デュ・パプのワイン
8 月 13 日：ニュージーランド産ワイン
8 月 20 日：ブルゴーニュワイン
8 月 27 日：イタリア産ワイン

各ワークショップでは、厳選された 3 種類のワインを試飲し、情熱的なソムリエが語る、近隣や遠方のブドウ畑の豊かさを構成する物語、テロワール、そして専門知識を発見してください。

夏の仕事帰りに、同僚や友人と集まってみてはいかがでしょうか？